

有田市コミュニティ・スクールだより



宮原小学校

4年生が、福祉学習の一環として、有田市福祉館なごみに年間6回程度訪問します。今年で5年目。子供たちが企画した歌やゲームで交流します。利用者さんはいつも大変楽しみにしてくれるとのこと。少子高齢化の世の中で大切にしたい学習です。



保田小学校

10月19日(土)、公民館自主事業で行われたペタンク大会。1年生から6年生までの希望者23人が地域の老人会の方々と一緒に楽しみました。チーム対抗戦でゲームが進む中で互いに距離が近づき、大変盛り上がりしました。

地域とつながる

各校の活動を紹介します

田鶴小学校



6月、ヒラメの稚魚放流。「命の教育」の一環です。地域の方々にお世話になりながら9年目を迎えました。実際にヒラメの赤ちゃんを手にして、小さな命を感じながら海に放流します。5年生が保育所年長児を優しくリードする姿から、来年度の6年生と1年生のステキな関係が垣間見られます。



糸我小学校

地域の育成会が立ち上げた「田んぼの学校」。米作りを通じて子供たちの健全育成を目指します。アイガモ農法を取り入れ、5年生が卵からふ化させます。小学校の授業とコラボして、地域の方の指導により進めています。今年で19年目。地域が子供育てを行う活動の一つです。



港小学校

老人クラブ会長さんのご厚意で昨年からはまったブドウ狩り。この貴重な体験ができるのは、2年生と4年生。地域の方々の温かい眼差しのもと慎重に初体験。子供たちは喜んで収穫したブドウを口にしていました。ふれあいの中で、みんなが笑顔になっていくステキな場面です。



裏面もご覧ください。
続けてご紹介します。





箕島小学校

5月末、福祉の学習でお世話になっている地域の方々とのペタンク交流会。チームで一生懸命プレーする中で交流が深まります。一緒に悔しがったり喜んだりして、互いに心の距離を縮めていきます。名前も覚えて、今後の学習がよりスムーズに進みます。



初島中学校

有田市で有名な「初中ソーラン」。地域の要望で披露する機会が多いです（写真は秋祭りでの様子）。地域の方々が大変喜んでくれるので自尊感情が高まります。演技が終わって帰る生徒一人一人に声かけをして見送ってくれるシーンに心温まります。



箕島中学校

写真は、授業で育て収穫した作物を地域の方と料理しているところです。苗植えから料理までその時々に応じて、地域の方が指導してくれました。餃子の皮で作ったミニピザは、みんなで一緒に食べたので格別においしかったようです。



初島小学校

年に6回地域の読み聞かせサークル「はなしっこ」さんに来てもらっています。「はなしっこ」と学校は、もう20年来のお付き合い。定期的にクラスを回ってもらうようになってからは10年。子供たちも毎回楽しみにしています。「継続」を大切にしている取り組みです。



保田中学校

学校運営協議会に生徒会役員が初参加。自転車通学についての要望を、生徒会を代表して役員自ら説明し、学校運営協議会委員さんに意見を求めました。最後に「自分たちでは気がつかなかった点を教えていただいたので、もう一度よく話し合います。」など一人一人が考えを述べた姿が頼もしかったです。



文成中学校

10年余り続いている5月の恒例行事。地域の清掃活動に全学年で参加します。事前に各地区の地区長・副地区長（生徒）が各自治会長さん宅を訪ね、持ち物や仕事内容等の打ち合わせを行います。作業の中で、中学生の力はとても頼りになります。地域に貢献する姿がステキです。

「コミュニティ・スクールだより」は、有田市ホームページ

<http://www.city.arida.lg.jp>

からでもご覧いただけます。

総合トップ ⇒ 暮らしの情報

⇒ 子育て・教育 ⇒ 教育

⇒ コミュニティ・スクールについて

おしらせ

